



～2月13・14日生産資材課車両課合同展示会の様子～

!TOPICS! トピックス

p1 佐藤弘一氏『北海道産業貢献賞』受賞

p2 国営緊急農地再編整備事業に係る中央訪問



J A今金町公式 YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します!

令和6年度 北海道産業貢献賞(農業関係功労者)表彰式



佐藤弘一氏

佐藤弘一氏

『北海道産業貢献賞』を受賞

2月12日、札幌市内で令和6年度北海道産業貢献賞の表彰式が行われ、今金町の佐藤弘一氏が受賞されました。

佐藤弘一氏は、今金町で黒毛和牛生産に取り組み、飼料用の米としてホールクroppサイレージを自家生産および自家利用した繁殖・肥育一貫経営を行っています。

平成16年に北海道和牛振興協議会の理事に就任し、北海道和牛に対する熱い思いや会員からの信頼の厚さから平成18年には副会長に就任、平成25年には会長に就任し、19年間の長きにわたり協議会の発展と、協議会運営を通じて地域のみならず全道の和牛の資質向上や市場性向上に貢献しました。

地域の共進会、全道共進会に積極的に参加し、全国和牛能力共進会でも上位受賞を果たし、北海道和牛を全国にアピールしました。和牛改良の重要な手段の一つである共進会の重要性を自ら示し、多くの会員に多大な影響を与えています。

協議会会長として、長年の生産者の願いであった全国和牛能力共進会北海道誘致にあたって協議会自ら開催経費を積み立てることを主張し、会員の理

解を得ながら誘致の意思決定を行ったうえ、北海道をはじめとする関係団体・機関等に生産者の決意を訴え、北海道開催決定に大きな役割を果たしました。

以上のことから、佐藤弘一氏は北海道和牛振興協議会の会長として北海道和牛の改良、生産基盤の強化、全国和牛能力共進会北海道大会の開催決定に多大な貢献をされており、北海道産業貢献賞受賞に推薦されました。



表彰式に臨む佐藤弘一氏



国営緊急農地再編整備事業に係る 青年層・女性層による中央訪問活動

2月17日から2日間、今金町国営農地再編整備事業推進会議が中央訪問活動を実施しました。中島町長のほか青年層・女性層が参加し、中央省庁や国会議員を訪問しました。

今回の訪問活動は、今金町における事業の本体工事が令和7年度で終了することから、すでに工事により整備された圃場で営農している成果・効果を報告することにより、農業基盤整備全般の重要性を伝え、今後他地区で実施予定の事業についても円滑に推進されることを目的として行われました。

農業者の現場の声を届けるため、今後の今金町農業を担っていく青年層・女性層に参加要請があり、青年部からは土橋龍二部長・宮本翼顧問、女性部からはフレッシュミズ部会の村上理江会長・上野真由美会計が参加しました。

参加者それぞれから「作業効率があがって余裕ができて耕作面積を拡大できた」「大区画化でスマート農業にも対応できるようになった」「農道などの安全性が高まり女性でもトラクターに乗れるようになった」などの事業効果について話されました。また、工事完了後に数年で法面が崩れるなどの不具合が出た際に「修繕など対応できるか不安がある」と今後の課題についても話されました。

国会議員の訪問では、地元選出の向山淳衆議院議員とも懇談し、同議員は後日2月27日の衆議院予算委員会の分科会において農業基盤整備事業に関連した質問を行い、懇談した内容に触れつつ「事業終了後でも補修工事対応が必要だ」等と発言しました。

今金町における国営緊急農地再編整備事業は、事業面積約2,200haの大規模事業であり、本体工事が平成26年に着工し12カ年の工事期間となりました。農地整備による本町農業の発展に大きな期待が寄せられています。



衆議院議員
向山淳 様



参議院議員 財務省財務政務官
東国幹 様



国土交通省北海道局
局長 柿崎恒美 様



衆議院議員
逢坂誠二 様



参議院議員
岩本剛人 様



農林水産省農村振興局
局長 前島明成 様



衆議院議員
池田真紀 様



参議院議員
鈴木宗男 様



財務省全計局
大沢暁子 様

※掲載写真は訪問先のうち一部です。

スキー大会に参加した皆さんで集合写真



ピリカで冬の賑わい

ウィンターフェスティバル開催

2月11日、ピリカスキー場において「ピリカウインターフェスティバル」が開催され、約400名が来場しました。

この催しはアルペンスキーGS（ジャイアントスラローム）大会として実行委員会が実施。令和4年度からはピリカ地域の観光資源を活かした町おこしを目指す「ピリカプロジェクト」と共催で行われており、今回で共催3回目を迎えました。JAではピリカプロジェクトのメンバーとして運営に参加しました。当日は町内外からたくさんの方

が参加するスキー大会の他に、子供たちが楽しめる滑り台など雪遊びイベントが開催され好評を博しました。

また「ピリカマルシェ」と題してキッチンカーが大集合したほか、クアプラザピリカ「加味丘ダイニング」特製の地場農産物を使ったテイクアウト料理「今金男しやくとポロネーゼのチーズ焼き」と、今金産小麦春よ恋を使用したパン「フォカッチャ」も大好評で、賑わいあふれる冬のイベントとなりました。



「ピリカマルシェ」販売ブースの様子



仮装スノーボーダーも来場!



的あてゲームに夢中!



大人気!滑り台!

理事会報告

第1回理事会（令和7年2月21日）

◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会報告について
3. 決算監査の実施について
4. 令和6年度事業決算の報告について
5. 令和6年度組合員の加入・脱退状況について
6. 内部監査報告について
7. 理事者への貸付実行報告について

◆議決事項

- 議案第1号 第57回通常総会開催日程について
- 議案第2号 不良債権の処理方針について
- 議案第3号 農協懇談会意見・要望と回答について

第2回理事会（令和7年2月22日）

◆報告事項

1. 組合員学習計画の報告について
2. コンプライアンス・プログラムの取組状況の報告について

◆議決事項

- 議案第1号 理事者への貯金・共済担保貸付の承認について
- 議案第2号 信用事業方法書の改正について
- 議案第3号 人事規程の改正について
- 議案第4号 令和7年度経営定期点検実施計画について
- 議案第5号 コンプライアンス・マニュアルの改正について

◆協議事項

1. 令和7年度事業計画について



料理講習会 (いも団子・味噌)

北海道の郷土料理として知られる「いも団子」は、茹でた芋に片栗粉を混ぜ合わせ、団子状に成形して焼き、みたらし餡などをつけて食されています。

部員の家庭で保管していたジャガイモ「今金男しゃく」約60キログラムを原料とし、大量のジャガイモを目の前にしながらも、おしゃべりを楽しみながら手際よく調理していきましました。出来上がった「いも団子」は棒状にラップでまとめられ、家庭に持ち帰ってから輪切りにして団子状に調理しやすいようにされています。フライパンに油をひいて両面に焼き目がつく程度に焼いて食すと、外はカリッ、中はもちもちとした食感で、芋の



皮をむいたジャガイモを適度な大きさに切る様子

JA今金町女性部は2月12日、今金町民センターにおいて料理講習会を開催し、部員11名が参加して「いも団子」づくりを行いました。



ミンサーで大豆をすりつぶす様子

味がしっかりととして美味しく仕上がっていました。

また、2月22日にも今金町民センターにおいて料理講習会を開催し、部員10名が参加して「味噌」づくりを行いました。部員らは家庭で使う1年分の味噌を作ろうと、各自材料となる大豆などを持参し、皆で協力しながら順番に調理していきましました。

味噌はあらかじめ浸水しておいた大豆を煮て、ミンサーですりつぶし、塩と麴を混ぜ合わせ、樽に詰めて10ヶ月程度寝かせて出来上がりです。味噌は大豆の味が大事な要素ということで、白大豆に黒大豆を少量ませ合わせて工夫する方もいました。

女性部では冬期間を活用して料理講習会を毎年のように企画し、家庭で役立つ料理を作っています。

フレッシュミズ部会

料理教室

参加者は繊細な練り切りづくりに悪戦苦闘しながらも、楽しみながら工夫して作り上げました。講師が一見して簡単そうに完成させた練り切りの再現は難しく、参加者はプロの技に感心していました。

料理教室の後、別室でお茶会を開き、会員が点てた抹茶を味わいながら懇談しました。上品な甘さの練り切りと抹茶の相性は良く、参加者は美味しいと喜んでいました。

フレッシュミズ部会では、「気軽に楽しめて仲間づくりにもなる」をモットーに、会員が関心のある活動に取り組んでいます。

JA今金町女性部フレッシュミズ部会は2月26日、今金町民センターにおいて料理教室を開催し、「練り切り」づくりにチャレンジしました。会員5名のほか一般参加4名と、子供1名が参加しました。

「練り切り」は白あんとなぎを混ぜ合わせた練り切り生地から作る和菓子で、色付けや細工により見た目が美しく上生菓子に分類されます。おもてなしの際や、お茶席などで振舞われるお菓子です。

料理教室の講師はせたな町の甲田菓子店に依頼し、「シマエナガ」「菜の花」「さくら」をテーマに作りました。初心者でも気軽に楽しめるように、あらかじめ用意された生地を使って、生地に餡子を包んで成形し、ラップ・割りばし・着色料などを駆使して作りました。



講師が作った練り切り



練り切りの作り方を教わる様子

町長との懇談会



懇談会で中島町長が話す様子

2月28日、JA今金町青年部は今金町役場において町長との懇談会を開催しました。今金町農業の将来について青年部としての思いを行政と意見交換することを目的とし、青年部からは土橋部長ら7名、今金町役場からは中島町長ら4名が参加しました。

青年部からの意見として、今後の営農は経営面積拡大などにもとない、作業の効率化、省力化、労働力の確保などが共通課題であり、機械の大型化、スマート農業導入、多様な人材確保等に取り組み、多様な人材確保等と話し合いました。町長への事前質問回答では、青年部に対し「農業について積極的に提案して欲しい」と期待を込めた発言がありました。

若手農業者の声を発信することは大事であるという共通認識を持ち、今後も様々な形で懇談の場を設けようと約束して懇談会を締めくくりました。

学習会

「ザルビオ」に関するお問合せは生産資材課・農業経営課へお願い致します。

2月28日、JA今金町青年部は今金町民センターにおいて学習会を開催し、ホクレン函館支所生産資材課を講師として、栽培管理支援システム「ザルビオ」について学びました。参集範囲を青年部以外にも拡大して案内し、一般参加を含めて26名が参加しました。

「ザルビオ」は日々更新される衛星写真を基にした分析や、1kmメッシュの気象予測を踏まえた生育分析及び防除予測などの機能を備えたシステムです。令和6年にはモニター利用が始まり、令和7年から本格導入が始まるにあたって各地で説明会が開かれ、北海道内でも普及が目指されています。モニター利用した方から「防除の目安として十分活用できる」「畑の見回り回数が減る」等の感想も話されました。



講師の説明を聞く参加者の様子

JA職員との懇談会



JA職員の説明を聞く部員らの様子

2月28日、JA今金町青年部は今金町民センターにおいてJA職員との懇談会を開催しました。JA事業の理解を深めること及び青年部活動を知ってもらうことを目的とし、部員11名とJA職員5名が参加しました。

JA職員は全部門の実務担当者の若手職員を対象に参加し、参加者それぞれから業務に関する情報提供が行われました。JAの冬期懇談会などでも情報提供が行われていますが、実務担当者目線での営農情報は参考になる部分が多かったようです。経営者ではない部員も多い中で、JA事業について気軽に触れることができました。また、部員からは業務推進の課題について質問されるなど活発な意見交換となりました。

懇談会終了後には別席で懇親会を催し、部員とJA若手職員の分野をまたいだ交流が行われました。



JA今金町スタンド『夏季営業時間』について

日頃よりJA今金町スタンドをご利用いただきまして誠にありがとうございます。夏季営業時間は以下の通りとなりますのでお知らせ致します。

期間：令和7年4月～10月末まで

7時30分～18時30分(月～土)

8時30分～17時00分(日)



様々な出来事をご紹介

トピックス

いまがね TOPICS



J A道南地区青年部協議会 盟友との意見交換会開催

2月12日、J A今金町大会議室において、J A道南地区青年部協議会が青年部盟友との意見交換会を開催しました。道南各地から総勢16名が参加し、うちJ A今金町青年部からは10名が参加しました。

この意見交換会は、道南地区のイベント開催が函館に集中していることから、遠方の盟友にも日頃の活動を理解してもらい、意見交換を通じて交流を図ることを目的として開催されました。

グループワークでは、同協議会の活動に対して、若い部員が参加しやすい企画や、加盟組織（単組）との交流促進について等、様々なアイデアが出されました。また、日頃の青年部活動について情報交換を行うなど交流しました。



グループワークの様子

生産資材・車両整備工場 合同展示会を開催

「表紙にも写真を掲載」

2月13日から2日間、J A今金町25号倉庫において、同J Aの生産資材課および車両課の合同展示会を開催しました。

J A今金町のほか、ホクレンやメーカー等30店が出展し、新車、小型農機具、工具など、会場には所狭しと様々な商品が並べられました。中には一輪車を電動化する装置や、圃場間移動に便利な電動キックボードなど興味を引く商品もありました。また、キッチンカーのドーナツ販売も来場者に好評でした。

来場特典の牛乳1ℓ配布もあり、前年よりも多い160名を超える来場を頂きました。ご来場頂いた皆様には感謝申し上げます。



ドローン等の商品について説明を受ける組合員

農業振興計画策定に向けた 意見聴取が行われました

2月17日から3月6日にかけて、今金町農業振興計画策定に向けた意見聴取が行われました。関係する各団体からは、今後の作物振興の方向性についてや、今後の課題と必要な措置などについて意見が述べられました。

2月19日には、今金町麦作振興会に対して意見聴取が行われ、振興会役員3名と事務局が出席しました。

麦の作付面積は緩やかに増加し、今後500ヘクタール程度になると同振興会では想定しています。共同利用の播種機械は引き続き利用需要がありますが、更新負担が課題となっています。また、集荷調整施設の処理能力・期間が今後の課題として話されました。



意見聴取を受ける今金町麦作振興会の様子

檜山北部広域根菜部会 人参講習会を開催

2月26日、J A今金町営農部事務所会議室において檜山北部広域根菜部会により人参講習会が開催され、人参生産者10名が参加しました。

講習会は、資材メーカー2社を講師として、防除体形や有機肥料の特性などについて学びました。特に、令和6年度は軟腐病や黒葉枯病が散見され問題となったことから、対策として新しい防除体形の確立に向けた内容が盛り込まれました。

人参は基幹作物の馬鈴薯と輪作の相性が良い作物で、収穫作業が機械化されており比較的取り組みやすい野菜となっています。令和6年度は新規耕作者が2件増え、全体の作付面積も増加しています。



講習を受ける様子

JA今金町では貯金窓口にてタブレット端末のお取引受付を開始します
ぜひご利用ください

タブレットで
簡単・便利に

JAバンクでの
お取引を
もっと便利に

JAバンク スマイルナビ

郵便番号
検索すると住所が
自動で表示されるし、
金融機関も検索できて
とっても楽ね!
伝票よりも便利で
入力しやすいわ!



タッチで簡単
お取引!

JAバンクスマイルナビで、大変
だった書類への記入が不要に。
タブレットの画面に沿って必要
事項を入力・選択するだけで、
お取引の受付ができます。*1

1回



複数の書類
記入不要!

複数のお取引でもタブレットな
ら署名は一度ぎり。
続けて入力する場合、2件目
のお取引から同じ内容は自動表
示されるため、入力不要です。*2



カード持参で
自動入力!

キャッシュカードをご持参いただ
ければ、住所等のお客様情報や口座
情報が自動で表示され、簡単・便利
にタブレット入力が行えます。*3



タブレット画面で
文字が見やすく、
簡単に操作ができて
とっても
便利だぞう

©よりぞう

ご利用いただけるお取引

お預入れ ↓ ¥	お引出し ↑ ¥	お振込み ¥
お届け内容の 変更 ↻	定期貯金 JA BANK	定期積金 JA BANK
普通貯金等 口座開設 ※原則ご新規の お客様向け	普通貯金等 のご解約	キャッシュカードの 発行・再発行等 JA CASH CARD

*1: キャッシュカードと暗証番号による認証成立を条件に、同一名義で当組合に開設された当座性口座・定期性口座の情報および届出事項の一部がタブレットに表示されることがあります(JAごとに表示される内容は異なります)。詳しくは窓口までお問合せください。

*2: 金額等の必要事項の入力等は必要となります。

タブレットは一度に最大10件のお取引の入力を続けて行うことができますが、署名は一度きりとなります。また、続けてお取引の入力を行う場合は、一度入力した住所・電話番号などの再入力は不要です。

*3: キャッシュカードはカード表面記載の会員ご本人様のみご利用いただけます。お客様のカードをご家族等がご利用することはできません。また、暗証番号についてもご家族を含めた第三者に開示されることも禁止されています。ご家族名義のキャッシュカードをご希望のお客様は窓口までご相談ください。

貯金窓口の営業時間を変更しました

3月3日より貯金窓口の営業時間を変更しました

(変更前) 午前9時～午後3時

**(現在) 午前9時～午後0時30分
午後1時30分～午後3時**

お昼休み休業（午後0時30分～午後1時30分）を導入し、昼休み交代で手薄になる時間帯をなくすことにより、万全なサービス提供に努めます。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(※1) Aコープ入り口のATMは、ご利用時間に変更ありません。
[平日] 午前8時45分～午後6時
[土曜] 午前9時～午後5時

(※2) 共済課はお昼時間帯も当番にて対応します。本事務所西側玄関からお入りください。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

過去の参議院選挙(比例代表)

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

問われる組織力

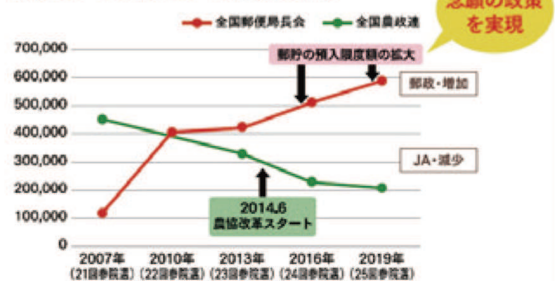
このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。

郵政グループとJAグループ得票数の推移



自民党 全国比例区 得票数順位 (2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	柘植芳文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

2025国際協同組合年

2025 International Year of Cooperatives



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives：IYC）に決めました。

協同組合は国際協同組合年を機に、相互扶助（助け合い）の精神に基づき、持続可能な地域社会づくりにいっそう貢献してまいります。

協同組合はよりよい世界を築きます

Cooperatives Build a Better World



2025国際協同組合年全国実行委員会

事務局：一般社団法人日本協同組合連携機構（JCA）



2025国際協同組合年
全国実行委員会は
IYC2025に賛同しています。

国際協同組合年

